

電業特報・プチ特集／2020.11

今年掲載の本紙プチ総特集・ダイジェスト版！ いろいろな建物や電化の記憶などを訪ねました ～新国立競技場から明治の水力発電所まで①～

(取材・構成／本紙編集部)

写真1／昨年12月に完成なった新国立競技場の雄姿



☆東京オリパラが予定通り開催と信じていた1月

本紙の毎月最終週発行号に掲載の「電業特報・プチ特集」。今月と来月（12月）は2回に分けて、新型コロナウイルス騒動の渦中に取材し、掲載させていただいた2020年特集企画のダイジェスト版をお届けしたい。

今年最初のプチ総特集は、完成したばかりの新国立競技場が主役。この特集では旧国立競技場が解体される前の姿（2014年9月撮影）から、解体中の模様（2017年2月撮影）、解体を終えて基礎工事が進んでいる様子（2017年11月）、さらにはスタンドなどが着々

と造られていく様子（～2019年夏まで、写真1・2参照）を、順を追ってご紹介した。

そして特集の末尾には、2020東京オリパラがいよいよ今年（2020年）の7月24日～8月9日まで行われること、パラリンピックは8月25日～9月6日まで行われることを紹介していた。

新型コロナウイルスの存在は昨年12月に明らかになっていった。しかし、この特集を掲載した今年1月末の段階では、新型コロナウイルスがまだ今日のような強力な感染力をもっているとは想像もしていなかった

*本文、後略